



画 蓮佛亨

内職友の会四〇年のあゆみ

浦本信子

北牧さんの思いで

清水千鶴

忘れてはならないこの記録

京都解反二七年組総会

解説

一九五二年京都市のストライキ弾圧とは

燎原文芸

「無言館」紀行

黒住嘉輝

会告 原稿募集
二〇〇〇年をむかえて

内職友の会四〇年のあゆみ

浦本 信子

昭和二〇年(一九四五)一〇月、朝鮮から第二の故郷京都へ引揚げてきた。敗戦後の京都は空襲に備えてか大きな立派な屋敷が取壊されたり、空地が目立ち長かつた戦争の傷痕がここかしこに見受けられた。交通機関も気がかりであったが、幸いに京都駅から「たかの」行きの電車に乗ることができ、北山連峰の山々が変わりない姿でなつかしく迎えてくれた。国防服とモンペ姿の人の群れが何を求めるでもなく街にあふれている。

高野地域には戦時中傷病兵が療養していた陸軍病院がそのまま残されていた。復員軍人や海外から引揚げ者の仮住宅となり、「高野川引揚者寮」の看板がかけられた。寮は中央渡り廊下の左右にカマボコ型の平屋が六棟並び、西の端が共同炊事場、共同便所と続

いたようである。自治会の発案で元気が出るようとに、広場が盆踊りで賑わった。家にこもりがちの人たちもこの時ばかりは踊りの輪が繰り広げられた。笑顔いっぱい夜の更けるまでつかの間の喜びにひたつた。

寮の一隅で輸出手づくりの小さな「ひよこ」つくりの作業場ができる、学校から帰ると子どもたちが集まり、おしゃべりや笑い声とては、野宿よりも雨露がしげることで大満足と喜ばれた。それぞれの再出発の生活が始まられた。しばらくすると手近な場所にパン屋、うどん屋、豆腐屋、魚屋等の店もできて便利になつてきただ。住めば都とはよく言ったもので、仮設暮らしにも慣れ隣近所の仲間づき合いが始まった。寮の管理は京都府がやっており、部屋の使用料、電気水道使用料金等すべて世帯人数割りの計算で納金しておらず、入居者退去者に関する一切の事務手続がなされていました。寮の敷地と地元との間は有刺鉄線が張られている。そこへリュック一つで帰り住みついていた。寮は中央渡り廊下の左右にカマボコ型の平屋が六棟並び、西の端が共同炊事場、共同便所と続

昭和二五年(一九五〇)頃になるとヤミ米が案直に手に入ることもあり、戦後の混乱状態の食糧難も少しずつ緩和されて買出しから開放された住民は落ち着き、静かな日常生活が取り戻してきた。

昭和二七年(一九五二)頃になると主婦たちが仕事がしたい何かないかということで、早速仕事探し始めた。烏丸七条あたりの店から手提げ袋の仕事を見つけてくる、知恵を出し合い器用さと努力でビニール袋が編め、製品として認められたり、またタコ糸編みのマジック袋の注文が大量に入つ

て内職らしいグループが左京区引揚寮の片隅で誕生した。また大徳寺方面では平田果物店を中心となり、生健会の活動のなかから簡易な仕事から始まり、小さな集まりから大きく前進し内職運動の先達としていまも健在である。

京都市には母子家庭福祉事業として中央授産施設があり、市職員の制服や作業衣の縫製が戦時中から戦後も続けられていたところ廃止になった。また京都府は地域の人のために内職(手仕事)世話を職員がしていた。当時京都府は赤字財政のため、その制度は廃止の対象となつて地域へ民間委託されたが内職を求める人とのかかわりは続けられていた。家庭の主婦の働き場所が限られていて、今日のような時間給で働くパート制度等あまりない時代だった。

昭和三一年(一九五六)以後になると市内の内職者団体の組織化が急速に進み、郡部から亀岡内職友の会、宇治内職友の会等のグループが加わり府市合同で待望の連合会の結成をみた。その後郡部には、綾部、福知山、園部、峰山、夜久野、美山、宮津、瑞穂、三和、京北、長岡京等が組織されたので

郡部だけで分離連合会が作られた。市内の友の会は現在八か所、洛北(北区)、京都(上京区)、中京(西ノ京)、蜂の巣(左京区)、左京(関田(左京区)、あけぼの(山科区)、伏見(伏見区)、洛西(西京区)。過去に活動していた友の会、西陣(上京区)、西七条(下京区)、若草(中京区)、あすなろ(上京区)、嵯峨(右京区)、左京南部(左京区)、崇仁(下京区)、東寺(下京区)、北(北区)、中央内職(上京区)、新左京南部(左京区)等が住民の要求により作られ活動していた。

昭和三一年(一九五六年)八月「京都市地域授産事業助成規則」が制定された。内職者団体に補助金が支給されるようになり、貸付金(運転資金)制度もできて連合会傘下の友の会は会員も増え、事業収入も増えて安定した運営ができるようになった。会員四〇〇〇人五億円の事業実績をあげることができ、敗戦後沈滯していた地場産業活性化に多少の貢献度はあつたと当時を振り返って思うところである。

内職友の会はただ京都府市にあ

るだけだった。自治体に直結した丸抱えのところがほかに二三あるた。

だけで、内職者の要求が行政面に反映されているか、京都とどう違うか、他府県の実情を知るために神奈川県、横浜市、東京都の三都市へ研修懇談の申し入れをし、見学研修団を結成して出発した。神奈川県民生部長との対談では、内職者に喜んでもらえるように行政官として頑張りますとの力強い抱負が述べられた。横浜市では知的障害者の作業現場に案内されて、一工程ずつ型紙に合わせてガーゼを折ることがなかなかできず、手取り足取りの作業は根気と努力のいる指導で感心するばかりだった。東京都は一般的な和裁の講習だけで特に内職者の組織などなく、三都市自治体としてはそれなりの努力はなされているが、京都友の会方式が一步も二歩も前進していることを確認した。

昭和六〇年(一九八五年)四月内職関係者の反対運動を押し切り、京都市が社会福祉法人・京都福祉協会へ内職事業を委託した。それまでは京都市内職補導センターがあつて、配分運搬等、編物講習、和裁講師術講習等、予算決算報告、月報提出、補助金借入金申請等を各友の会から提出を受け民生局へ送る中間機関的な機能を果たしていた。昭和六〇年民間委託された後も、関係者の運動もあって、京都福祉協会内に内職補導センターが残り、民生局担当課、内職補導センター所長、内職連合会三役の三者で協議、内職団体から補助金貸付金の増額等また運営上の意見を申し入れなど懇談交流

制定のため予備懇談会が内職者大

会と同じ時期に数回持たれた後、昭和四五年二月一七日第六三回国会に家内労働法が提出され、昭和四五年五月八日成立した。それまでは家内労働者は無権利状態のまま放置されていたことを思えば、不十分な内容でザル法案ではないかとの声もあつたが、家内労働者の永年の願いが実ったものだつた。

昭和六〇年(一九八五年)四月内職関係者の反対運動を押し切り、京都市が社会福祉法人・京都福祉協会へ内職事業を委託した。それまでは京都市内職補導センターがあつて、配分運搬等、編物講習、和裁講師術講習等、予算決算報告、月報提出、補助金借入金申請等を各友の会から提出を受け民生局へ送る中間機関的な機能を果たしていった。昭和六〇年民間委託された後も、関係者の運動もあって、京都福祉協会内に内職補導センターが残り、民生局担当課、内職補導センター所長、内職連合会三役の三者で協議、内職団体から補助金貸付金の増額等また運営上の意見を申し入れなど懇談交流

された。

場産業界は衰退し続け、室町筋の商いも不景気のどん底で低迷している状況で、和裁に関する見通しはまったく先が見えていない。生徒は日々敬遠されがちである。年輩の方々の話では、嫁入り道具としてたくさん調達してもらつた着物が、タンスの中になまわれたままで一枚五〇〇円では売る気にもならない等もつたないと聞く。若者たちの和服ばなれは時代の流れの徒花かとも思われる。

リストラされたパート労働者や時間短縮で時間余りを内職でカバーしたいという人、主人が首になりそだだから内職でもと考へている人の相談等、不景気のしわよせが内職団体を振り動かしている。昭和六〇年京都市会に提案すると時、平成一〇年(一九九八年)一〇月、京都市内職補導センター廃止を一月の京都市会に提案するという重大な事態が起つた。内職センターは市民の要求に即した内容の充実強化こそが急務であり、廃止縮小は他府県に先がけた内職行政後退への道である。早速市長民

生局長に要望書提出、廃止反対の署名運動を進め引き続き連合会あげての取り組みを強めている。

私は三〇代のころから友の会一筋に運動し、喜びも苦しみも仲間

の会員と励ましあい、ボランティア精神に徹した月日の積み重ねが四十数年を刻んだ。

底なしの不景気が一段と深刻さを増し、いずれの内職友の会をも直撃し、仕事の量も減り会の運営がきびしくなっており、現在は最盛期に遠く及ばず、これからが正念場とお互いに心を引き締めて団結し、明日に向かって努力前進を誓いあうことが、平成一一年(一九九九)七月二二日京都内職友の会連合会第二八回総会で確認された。

(付記)

昭和二七年(一九五二)七月一日地方公務員法第三七条、三八条違反による懲戒免職で職場をおわされた(上京区役所ストライキ)あと、左京の内職運動にかかるなか、昭和三三年(一九五七)左京閑田内職友の会を創立。以後内職友の会一筋の運動を歩んできたことになる。

北牧さんの思いで

清水千鶴

北牧孝三さんの生涯については、既にいろいろな書物、記録によつてよく知られています。戦前、東京市電の労働者としての果敢な闘い、日本共産党への入党、治安維持法による不当な罪に問われての長い獄中生活、戦後、監獄から解放されると息を継ぐ暇もなく党に復帰、中央幹部として党の再建に参加。六全協後京都に帰つてからは、京都府党の幹部として党建設、大衆闘争に疲れを知らぬ活動をしてこられたことは周知のことです。

北牧さんの思いでは、本当に精力的に頑張つてこられた真摯な姿、亡くなるまで波乱に満ちた階級闘争をいろいろ思い起こすことができますが、晩年、病に倒れられてからの自分自身との闘い、あまり知られていないもう一つの壯絶な闘いについても、しっかりと記憶にとどめておきたいと思います。

す。

わたし

が

入院

して

おられた

吉祥

病院

へ

お見舞い

に行つたとき病院のベッドには、マルクス・レーニン主義と題したノートが作つてあつて、字を覚えたばかりの子どものような字がいっぱい書きなぐつてありました。

それが

と

いう

ものは

、毎日わ

たし

を呼び出

しては、

「わしの思

想はおかしくなつてへんか」と確

かめたり、書いた字を見せては

い、勝利へと導いた活躍は、西口

克己氏小説『新幹線』に鮮明に描

かれて

いる

が、北牧さんが議員活動を続

いている

さなか、日赤病院で何かの

集会に出席され、挨拶の最中に

脳梗塞で倒れられた時のこと

で命は取り留めて大事には至らな

かつたのですが、退院も近づいた

ある日、「新聞読みますか」と先生

に聞かれて返事に詰まつてしまつ

た。「字が読めない!」「字が一つ

も思い出せない!」。いつたいど

うなつたのか、どうしたらよいの

ります。

概略述べたように戦前戦後を通じての北牧さんの生涯は、一貫して戦争に反対し、労働者国民の権利と利益を守つて、命がけで権力と闘い抜いたものであつたと思ひます。

北牧さんの思いでは、本当に精力的に頑張つてこられた真摯な姿、亡くなるまで波乱に満ちた階級闘争をいろいろ思い起すことができますが、晩年、病に倒れられてからの自分自身との闘い、あまり知られていないもう一つの壮絶な闘いについても、しっかりと記憶にとどめておきたいと思います。

わたし

が

入院

して

おられた

吉祥

病院

へ

お見舞い

に行つたとき病院のベッドには、マルクス・レーニン主義と題したノートが作つてあつて、字を覚えたばかりの子どものような字がいっぱい書きなぐつてありました。

それから

とい

う

もの

は

、毎日わ

たし

を呼び出

しては、

「わしの思

想はおかしくなつてへんか」と確

かめたり、書いた字を見せては

い、勝利へと導いた活躍は、西口

克己氏小説『新幹線』に鮮明に描

かれて

いる

が、北牧さんが議員活動を続

いている

さなか、日赤病院で何かの

集会に出席され、挨拶の最中に

脳梗塞で倒れられた時のこと

で命は取り留めて大事には至らな

かつたのですが、退院も近づいた

ある日、「新聞読みますか」と先生

に聞かれて返事に詰まつてしまつ

た。「字が読めない!」「字が一つ

も思い出せない!」。いつたいど

うなつたのか、どうしたらよいの

ります。

概略述べたように戦前戦後を通じての北牧さんの生涯は、一貫して戦争に反対し、労働者国民の権利と利益を守つて、命がけで権力と闘い抜いたものであつたと思ひます。

北牧さんの思いでは、本当に精力的に頑張つてこられた真摯な姿、亡くなるまで波乱に満ちた階級闘争をいろいろ思い起すことができますが、晩年、病に倒れられてからの自分自身との闘い、あまり知られていないもう一つの壮絶な闘いについても、しっかりと記憶にとどめておきたいと思います。

わたし

が

入院

して

おられた

吉祥

病院

へ

お見舞い

に行つたとき病院のベッドには、マルクス・レーニン主義と題したノートが作つてあつて、字を覚えたばかりの子どものような字がいっぱい書きなぐつてありました。

それから

とい

う

もの

は

、毎日わ

たし

を呼び出

しては、

「わしの思

想はおかしくなつてへんか」と確

かめたり、書いた字を見せては

い、勝利へと導いた活躍は、西口

克己氏小説『新幹線』に鮮明に描

かれて

いる

が、北牧さんが議員活動を続

いている

さなか、日赤病院で何かの

集会に出席され、挨拶の最中に

脳梗塞で倒れられた時のこと

で命は取り留めて大事には至らな

かつたのですが、退院も近づいた

ある日、「新聞読みますか」と先生

に聞かれて返事に詰まつてしまつ

た。「字が読めない!」「字が一つ

も思い出せない!」。いつたいど

うなつたのか、どうしたらよいの

ります。

概略述べたように戦前戦後を通じての北牧さんの生涯は、一貫して戦争に反対し、労働者国民の権利と利益を守つて、命がけで権力と闘い抜いたものであつたと思ひます。

北牧さんの思いでは、本当に精力的に頑張つてこられた真摯な姿、亡くなるまで波乱に満ちた階級闘争をいろいろ思い起すことができますが、晩年、病に倒れられてからの自分自身との闘い、あまり知られていないもう一つの壮絶な闘いについても、しっかりと記憶にとどめておきたいと思います。

わたし

が

入院

して

おられた

吉祥

病院

へ

お見舞い

に行つたとき病院のベッドには、マルクス・レーニン主義と題したノートが作つてあつて、字を覚えたばかりの子どものような字がいっぱい書きなぐつてありました。

それから

とい

う

もの

は

、毎日わ

たし

を呼び出

しては、

「わしの思

想はおかしくなつてへんか」と確

かめたり、書いた字を見せては

い、勝利へと導いた活躍は、西口

克己氏小説『新幹線』に鮮明に描

かれて

いる

が、北牧さんが議員活動を続

いている

さなか、日赤病院で何かの

集会に出席され、挨拶の最中に

脳梗塞で倒れられた時のこと

で命は取り留めて大事には至らな

かつたのですが、退院も近づいた

ある日、「新聞読みますか」と先生

に聞かれて返事に詰まつてしまつ

た。「字が読めない!」「字が一つ

も思い出せない!」。いつたいど

うなつたのか、どうしたらよいの

ります。

概略述べたように戦前戦後を通じての北牧さんの生涯は、一貫して戦争に反対し、労働者国民の権利と利益を守つて、命がけで権力と闘い抜いたものであつたと思ひます。

北牧さんの思いでは、本当に精力的に頑張つてこられた真摯な姿、亡くなるまで波乱に満ちた階級闘争をいろいろ思い起すことができますが、晩年、病に倒れられてからの自分自身との闘い、あまり知られていないもう一つの壮絶な闘いについても、しっかりと記憶にとどめておきたいと思います。

わたし

が

入院

して

おられた

吉祥

病院

へ

お見舞い

に行つたとき病院のベッドには、マルクス・レーニン主義と題したノートが作つてあつて、字を覚えたばかりの子どものような字がいっぱい書きなぐつてありました。

それから

とい

う

もの

は

、毎日わ

たし

を呼び出

しては、

「わしの思

想はおかしくなつてへんか」と確

かめたり、書いた字を見せては

い、勝利へと導いた活躍は、西口

克己氏小説『新幹線』に鮮明に描

かれて

いる

が、北牧さんが議員活動を続

いている

さなか、日赤病院で何かの

集会に出席され、挨拶の最中に

脳梗塞で倒れられた時のこと

で命は取り留めて大事には至らな

かつたのですが、退院も近づいた

ある日、「新聞読みますか」と先生

に聞かれて返事に詰まつてしまつ

た。「字が読めない!」「字が一つ

も思い出せない!」。いつたいど

うなつたのか、どうしたらよいの

ります。

概略述べたように戦前戦後を通じての北牧さんの生涯は、一貫して戦争に反対し、労働者国民の権利と利益を守つて、命がけで権力と闘い抜いたものであつたと思ひます。

北牧さんの思いでは、本当に精力的に頑張つてこられた真摯な姿、亡くなるまで波乱に満ちた階級闘争をいろいろ思い起すことができますが、晩年、病に倒れられてからの自分自身との闘い、あまり知られていないもう一つの壮絶な闘いについても、しっかりと記憶にとどめておきたいと思います。

わたし

が

入院

して

おられた

吉祥

病院

へ

お見舞い

に行つたとき病院のベッドには、マルクス・レーニン主義と題したノートが作つてあつて、字を覚えたばかりの子どものような字がいっぱい書きなぐつてありました。

それから

とい

う

もの

は

、毎日わ

たし

を呼び出

しては、

「わしの思

想はおかしくなつてへんか」と確

かめたり、書いた字を見せては

い、勝利へと導いた活躍は、西口

克己氏小説『新幹線』に鮮明に描

かれて

いる

が、北牧さんが議員活動を続

続きました。

退院後も北牧さんのリハビリの苦闘は続くのですが、発病以来、激しい悲嘆の中におられた奥様は「市会議員の夫に三つ子の教育でもあるまい」となかなか理解ある協力が得られない。いらい北牧さんは毎日私の家にきて、リハビリと勉強を始めました。

いろんな情景や、人々の所作や動作を絵にかいだ紙芝居のようなものがあるのですが、これは失語症の言葉の訓練のためのカードで、これを病院から借りてきて、本当に気の長い、粘り強い訓練が始まりました。

幼児が絵本を見てやるように、絵にかいてある人、動物、景色、一つひとつそれを言葉として覚えていく。その次にはその情景をお話する。そんなことが毎日続きました。

そのうちの一枚のカードに来客があつて応接をしている絵がありました。実際に北牧さんと私が、主人と来客になつて、座布団をすめたり、お茶を出して、挨拶をしたりするといったような言葉と、動作の練習も、何度も何度も繰り返す涙ぐましい努力が続きました。

した。

これは私にとつても大変な努力がいったのですが、本当の親子のように、北牧さんの大好きな大福餅を食べながら、お茶をのんでもよつと一休みしたこと、今になるととなつかしく思い出されます。

漢字を覚えるためにと、書道の秋山先生に師事されて熱心に習字の練習に励んでおられました。本誌『燎原』が発刊されたとき、「こんな誌名にしたよ」と燎原と書いた色紙をくださいました。おそらく無心の境地で書かれたと私には思える筆跡でした。

北牧さんの病の後遺症克服の大変な努力は、一緒にお手伝いをさせてもらつた私の目には、共産主義者としての生死を賭けた壮烈な闘いとして映りました。戦前の非合法時代、監獄の中で厳しい弾圧に耐えて頑張ってきた人の真髄を見たように思いました。私は逆に慈愛に満ちた父に育てていただいだ思いでいっぱいです。

北牧さんと一緒に南区の労働組合をよく訪問しました。組合の役員さんに「世の中進みましたね。昼間から女性と一緒に共産党です

といつて訪問できるなど戦前からみれば夢のようです」と口癖のよう

にいつておられた。大衆運動とあります。

党建設について、夜の更けるのも忘れて語り合つたのもなつかしい思い出です。

新幹線不当立ち退き反対闘争で闘つた人たちが勝ち取つて、移住してこられた町、南区吉祥院中島町『あけぼの住宅』の、生みの親はまさに北牧さんです。この闘いを支持してくれた蜷川知事と、北

牧さんの思想と情熱は、町の歴史として今も語り継がれ、民主府・市政の奪還に大きな力として歩み続けています。

長い苦しい努力と執念で、みご

せてもらつた私の目には、共産主義者としての生死を賭けた壮烈な闘いとして映りました。戦前の非合法時代、監獄の中で厳しい弾圧に耐えて頑張ってきた人の真髄を見たように思いました。私は逆に慈愛に満ちた父に育てていただいだ思いでいっぱいです。

とにかく伊豆へ旅をされたことは、あるとき伊豆へ旅をされたことがあります。

湯気の立つ伊豆の葦山や朝ぼらけ

忘れてはならないこの記録 京都解反一七年組総会

昭和二七年（一九五二年）七月

北牧さんと一緒に南区の労働組合をよく訪問しました。組合の役員さんによると、世の中進みましたね。昼間から女性と一緒に共産党です

とに失語症を克服された北牧さんは、あるとき伊豆へ旅をされたことがあります。

湯気の立つ伊豆の葦山や朝ぼらけ

こんな俳句が書かれたハガキがきました。この一句一枚のハガキが私への遺品となりました。今も大切にもつています。その後入院され、一度お見舞いに行き一杯お話ししました。その日よりお会いすることもなく……告別式の日、小さな寝顔とお会いしました。冷たい雨の日だったと記憶しています。「私がんばるからね」といつてお別れしました。

とにかく伊豆へ旅をされたことは、あるとき伊豆へ旅をされたことがあります。

他府県のレッドページ組の復権
闘争は大方解決されたようです。
京都は地方公務員法第三七条違反

第一号として未解決のまま問題を

残し推移しています。四年前の市

長選挙をめざして運動を進めかけ
ましたが、先の見通しが不透明と
見たのと、こちらの体制が取れな
かつたので選挙事務所を激励した
だけで見送りました。革新候補者

としては三度目の出馬となり、こ
れをチャンスとして考えたいと思
います。

今度の運動のあり方すすめ方等
について忌憚のないご意見をお聞
かせくださいようお願いします。

1、一斉休暇闘争後四七年目の総
括
・半世紀にわたる年月の思い
を語り合い最後のチャンス
として今後の取り組みをどうするか
・京都労働史を飾つたただ一
つの記録として、また炎ともえた青春の日を手記としてまとめ共同の集大成としては

2、京都市労連(河内さん)、京都
自治労連(椿原さん)へ復権
の運動を進めるため支援協力
のお願いを要請する

闘争、名譽回復について今後
の運動を進めるため支援協力
のお願いを要請する

京都市職不当解雇反対同盟

(連絡先・京都市左京区田中西大
久保町一三、浦本方)

野田 道法

山内 幸一

廣岡 保

永田 宗一

浦本 信子

中西理一郎

坂井 泰男

池田 妙子

森田 知彦

昭

山合いの谷・平・盆地 川筋にみすずかる信濃の町辺りゆく
上山田戸倉温泉名月荘 清原日出夫のとりくれし宿

十八号国道沿いに行けという通勤ラッシュの朝の渋滞

道路工事の迂回路にまた悩まされ無言館探しあぐねておりぬ

律義なる工員「よく来た」としばらくは誘導し道を教えてくれたり

信州は塩田平古安曾山王山 山頂 緑の中の美術館

丘の上に尋ねあてたる無言館 開館前の静けさにあり

開館まで時間あるゆえ訪ねたるデッサン館の庭に飲みしコーヒー

「絵が描きたい」「時間が欲しい」と書き残し召集受けたる若き画家たち
額縁もなき絵うす暗き壁にあり出征前慌ただしく描かれしならん
てまとめて共同の集大成としては

入営前寸暇を惜しみ描き継ぎて絵筆惜きたる自画像若し

恋人を妻を妹を妹を描きたる裸婦像残し 帰還せざりき

燎原文芸

「無言館」紀行

黒住 嘉輝

一九五二年京都市のストライキ弾圧とは

一九五二年京都市長、高山義三は、財政困難を理由に市民不在の行政改革を計画、区役所出張所を廃止するなどの強行手段によって、多数の労働者の首を切ろうと考えました。そして同年七月二日には京都市職員整理要綱を発表し、職員の一五パーセントに及ぶ被整理者名簿を提出するよう各所属長に命令したのであります。

この整理要綱第四項は、その職に必要な適格性を欠く場合として、次のような事項をあげていますが、どの項目をとつてみても誠にあやふやな項目にすぎないものでした。

一、上司の決定した方針に協調しない者

二、職員としてふさわしくない行為のあつた者

三、職場の秩序を乱す者

四、部下の統率力、指導力のない者

五、同僚との協調性に著しく欠けている者

当時、京都市の市長部局の定員は、五三三一名であったが、実人は、五三三一名であったが、実人

二、今後の区職の闘争について

員は五一〇二名にすぎず、二二九名（四・三パーセント）の欠員があつたし、職員一人当たり人口も横浜市の九六人、大阪市の八〇人に対し、京都市は一一二人とはるかに多かつた。

そこで京都市職、区職は以上のような事実をあげ、無謀な行政改革と首切り計画を中止するよう強く市長に申し入れた。しかし高山市長は組合の道理ある主張に耳をかさず、逆に「京都市の現状は四人で担げる駕籠を六人で担いでいるようなものだ」といつて大量首切りの方針を撤回しようとした。

ここにおいて組合員の怒りは頂点に達し、七月五日上京区役所で開かれた第四二回中央委員会は、次のような闘争方針を決定しました。

一、市民と組合員の犠牲によつておこなわれる行政改革、首切りに対しては、一斉休暇を含む実力行使をもつてたたかう。

二、今後の区職の闘争について

預けられ庫裡隅に雨漏り受けしどう巨き日本画の軽羅の二人

雨洩りの痕痛ましき日本画は洋装和装の女性立像

奄美から旭川から一つひとつ集められ三百の絵が壁に在る物置にしまわれしまま五十年時経しもあらん暗き灯を浴ぶ

略歴と遺品の並ぶガラスケース 戦死公報同じ書式に

片道の燃料積み出撃せし特攻機 戦死は如何に確認されし

一人捕虜になりて九軍神となりしことも戦後知りたり真珠湾攻撃

半世紀時過ぎゆきてひび割れし出征兵士の遺品の絵なり

館内の壁のひとところうずたかき寄付者の名前刻める煉瓦

スケッチに描きとめられたる中国の人らなつかしき軍事郵便

戦死せし画家の眼に焼きつきて絵とならざりし景色もあらん

今はなき風景と日本人の貌があり戦没画学生の残したる絵に

出征を見送る写真のどれにもある日の丸を国旗と決めしはこの夏

脚光を浴びしことなき若き死者の訴えとして無言館は在る

燎原

は、一切の権限を中央闘争委員会に委任する。

そして区職各支部はこの決定をたずさえ、強力な職場交渉をおこなうとともに、本部は緊急拡大闘争委員会を開いて協議を重ね、市長に反省を促すには実力行使以外に道のないことを確認、七月一日から一斉休暇闘争に入ることを決定、直ちに区職中闘委員長名をもつて、一一日から三日間の一斉休暇を指令しました。

こうして上京区役所と水道を中心休暇闘争に突入しましたが、このとき上京区役所では、三五〇名の職員のうち監理課職員を除く三〇四名がこの休暇闘争に参加しました。だが残念なことには上京を除く六支部は休暇闘争に入ることができませんでした。しかしそれらの支部においてもぞくぞく職場集会が開かれ、理事者に対する抗議が相次ぎ、実質的には職場放棄と同じような状態に落ち入つたのであります。

そのうえ市職の職場においても、「上京につづけ」、「上京を孤立させるな」という声が高まり本庁においても各区役所と同じように業務遂行は不可能となつてきました。

した。それに加えて一二日には水道が一四日から全面ストに入ることを決定いたしました。

このような闘争の発展に驚いた理事者は、組合員全員にあて「キユウカミトメシユツキンセヨクチヨウ」という速達電報を発したうえ課長が組合員の家庭を訪れて切り崩しをはかるとともに、新聞ラジオなどの報道機関を使つて、市理事者の恫喝、警察のおどし文句を並べたてました。

だがこうした当局の圧力も上京組合員の団結を破ることができませんでした。それに加え一四日に水道の全職場がストライキに入れば、京都市の給水事業は破壊的混乱に落ち入ることが明らかとなつてきました。

そこであわてた理事者は、一三日正午のラジオ放送で、市職委員長ら一六名の懲戒免職を発表して組合員に圧力をかけるとともに、一四日朝には四条大宮に結集した上京支部組合員らを市警察におそわせ、六十余名を検挙するという暴挙にて、さらに七月二十五日に暴挙にて、さらに七月二十五日になつて、市側は懲戒免職一名を含む七四〇名の大量処分を強行した

会告 原稿募集

一一〇〇〇年をむかえて

二〇世紀最後の年がやってきます。私たちの生きてきた世紀とは何だったのか？それを問い合わせすことなしに新しい世紀にたちむかえば、またまた惨事・愚行のくり返しになつてしまふでしょう。

希望のある未来を望んで、おたがいの経験した二〇世紀を語り、歴史への思いをつづろうではありませんか。一〇〇〇字以内で自由にご投稿ねがいます。締切は一応一二月一〇日とします。次号以後に適宜掲載の予定です。



会および会報については、左記へご連絡ください。

〔事務局〕

〒六〇〇五一〇九五三

京都市東山区今熊野
南日吉町三九 奥村和郎
TEL FAX〇七五—五六一一七四八五